

会員懇談会「個人診療所・一人医療法人の税務、労務、会計」

医院経営 幅広く交流

淡路支部ニュース

2011.8.25

No. 273

兵庫県保険医協会
淡路支部
〒650-0044 淡路市物部三丁目44
松本区院内
☎0799-2210411



8人が参加し活発に意見交換した(7月23日・南あわじ市、2面に感想文)

Let's...

一年の中で私にとつて一番嫌な季節。毎朝、透かし窓が日に日に暗くなつてゆく。一日一〜二分ずつ短くなつてゆく。加えて今年には夜間の気温が下がらないので、雨戸を開けてもムツとした空気が入ってくる。風でない。

世の中あいかわらず変なことが続発する。全国高校野球も準々決勝から午前中開催。TVで見られなかったという勤務者、仕事に差し支えたという主婦。病院の待合室が賑わつたという話もある。経済的な効果は?

(以前まだTVがない時代だが)大会中一〜二日は雨で中止になると考え、優勝戦を日曜になるように日程を組む。遠方のチームが勝ると滞在費がかさむ、阪神電車やス

ポーツ新聞の売れ具合…そんな話を聞いたことがある。TVの普及、交通機関の発達を組み合わせると応援団席の詰まり具合を考えてみると、また別の興味がわいてくる。野球を別の面から見る話は、またの機会にさせていただきたい。

天童川事件、エリート族(大学教授、准教授、警察官庁)の隠し撮りや万引事件。死体を入れた一斗缶事件等々。三面記事事件が一面へ登場することも度々。その原因はマスコミの功罪であり、さらに週ればアメリカがもたらした教育の成果では!? 電力会社の問題も次々に起こるし。

そして円高とか株式市場の乱高下とか「金」の話とか、経済音痴の私にとつてわからない問題の続発。レッスンの状態でありながら、教えていただきたい。

「八月二十一日 松本記」

会員懇談会 感想文

税理士任せにせず 最低限の知識を

淡路市 栗田 哲司

淡路支部は七月二十三日、南あわじ市の松葉寿司で、会員懇談会を開催し、八人が参加。「個人診療所・一人医療法人の税務、労務、会計」をテーマに松田力税理士が話題提供した。参加者の感想文を紹介する。

壇上で講師がマイクを持って講演という形式ではなく、少人数で講師を囲んで食事を楽しみながらお話を聞くという形式でした。そのおかげで、和やかな雰囲気の中で質問もしやすく、また講師の先生には、飛び出したたくさん質問に対して丁寧に答えていただけだったので、大変有意義な会員懇談会になりました。

項目としては、①税理士との付き合い方、②節税対策、③労働保険・社会保険についてお話しただきました。

できるだけ節税をしたいというのには、会員のみなさんの希望だと思いますが、一番的を射た講師のご意見として印象に残ったのは「①院長先生も一人の経営者。最低限の税務、労務、会計の知識は必要。最低限の知識があるだけで、税理士・社労士との意思疎通が格段に良くなる。すべてお任せは非常に危険。後で『こんなはずではな

かった』となる。②税理士は経営コンサルタントではない。一人の税理士事務所の経営者である。数字には強いので、数字を基にしたアドバイスはできるが、過度の期待は禁物。一つの意見程度に聞かなければならない」ということです。今まで税理士に任せきりにしていた私には耳の痛い言葉でした。税理士にも専門性があって、

税理士試験には十一科目あるそうですが、すべての試験を合格していなくても税理士の仕事ができるそうです。例えば、相続税の試験を合格していない税理士に相続の仕事を依頼するのは、無資格の人に依頼するのと同じである、という話には驚きました。

重要な事項の決定に際しては担当の税理士にすべてを任せるのではなく、セカンドオピニオンを依頼することも必要かと考えさせられました。

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠まで



協会役員就任のご挨拶

責任の重さ痛感

副議長・洲本市

高田 裕



このたび、副議長に就任いたしました。大任を押し、身に余る光栄です。

同時に責任の重さを痛感いたしました。議長を支え公正かつ円滑な協会運営にまず努めて参ります。

今後とも会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

淡路支部とのパイプ役に

理事・南あわじ市

橋田 友孝



このたび、諸般の事情から理事を引き受けることと致しました。

何もかも不十分で、健康だけがとりえですが、理事として、協会と淡路支部とのパイプ役を務められればと念じているところでございます。

よろしくご指導、ご支援をお願いいたします。

在宅ターミナルケア研究会ご案内

在宅末期がん患者における 緩和ケア(仮)

日時 10月15日(土)15時～

会場 洲本市文化体育館1A

講師 灘区・関本クリニック院長 関本 雅子先生

お申し込み・お問い合わせは、

TEL 078 - 393 - 1807 楠(クノキ)、段林(ダンバヤシ)まで

会員投稿

澤穂希に誉れあれ

洲本市・歯科 藤原 知

澤穂希は日本の閉塞を打ち破ってみせた太陽である。天の岩戸を開かした天照大神に匹敵する。平成日本の太陽である。

フィールドを離れた生き様も、束ねた髪を、戦う日常と共に解きほぐして肩まですりし、小鼻にピアス、爪に華麗なアートを施して、まだまだ私小娘なのよと遠慮も見せず女性であるのをパフオーマンスする。

元来化粧は、異性の前に自らを際立たせて自らに誘引するため、生身の女性に生来的に備わっている性的な本能的衝動に発す

るものである。

そんな質を持つ化粧の営みを、顕示するでもなく自然の佇まいのなかに熟(こな)してみせている穂希がいる。常に女性である自分を顕示したい本能的な衝動を持ち続けている穂希がいる。

私が医学部で医学生の「解剖実習」の面倒を見ていたその昔、指にマニキュアした女学生がいた。

遺体から学ぶ神聖な場のことであるだけに、マニキュアは許されるか否かを巡って論議を呼んだ。

マニキュアを施して、そ

の限りでよく手入れされた奇麗な指で解剖される、遺体はありがたいと喜んでいるのでないかという意見、そんな不謹慎は聖なる場所と聖なる営みに馴染まないとする意見などがあつた。

マニキュアすることの功罪は、解剖される遺体の思いを解剖する本人がどう斟酌できるかにかかっているとの結論に達して論議を閉じた。

あの折の女学生と医学生はどんな医者となって活躍していてくれるだろうか。

枯れることなく、その質において本能に基づく女心をもち続けることをすべての女性に期待する。そして差し当たり、澤穂希は期待に叶う女性である。

澤穂希に誉れあれである。

インターネットで保険医協会へアクセス!!



★情報満載!兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。
登録いただける方は下記までお知らせください。

e-mail:hyogo-hok@doc-net.or.jp